

# 健康福祉委員会資料

## (健康福祉局関係)

### 1 所管事務の調査（報告）

#### (1) 川崎市高齢者外出支援乗車事業について

#### 資料1 川崎市高齢者外出支援乗車事業について

**参考資料1** 川崎市高齢者外出支援乗車事業（高齢者特別乗車証明書・高齢者フリーパス）に関するアンケートのお願い

**参考資料2** 第1回 川崎市高齢者外出支援乗車事業のあり方検討会議資料

令和2年7月16日

健康福祉局

高齢者外出支援乗車事業 概要

市内在住の満70歳以上の市民の方を対象に、高齢者の社会的活動への参加を促進し、もって高齢者の福祉の増進を図ることを目的として、川崎市高齢者外出支援乗車事業を実施。

1 事業の概要

下記の二つの方式から選択して利用。

	コイン式（高齢者特別乗車証明書）	フリーパス式（高齢者フリーパス）
交付方法	市から対象者宛て郵送	左記の交付を受けた者のうち、希望者が任意で購入
内 容	バス乗車時に証明書を提示することで、 <b>大人の普通乗車料金の半額</b> で乗車可能。	<b>ひと月あたり1,000円</b> でフリーパスを購入することで、通用期間内であれば何回でも乗車可能（1,3,6,12か月の4券種）。

※このほか、障害者手帳所持者などに対して、福祉パス（無料）を交付。

2 本事業の課題

(1) 対象者数の増加

高齢化の進展により対象者数が増加していることに伴い、事業費も年々増大しており、令和2年度には事業費が20億円に到達、今後も中長期的な高齢化の進展が見込まれていることから、更なる事業費の増大が予想されている。

<本事業を取り巻く状況>

70歳以上人口の推移と将来設計

年次	川崎市総人口	70歳以上人口
昭和50年	1,014,951	24,619
平成16年	1,304,258	121,215
平成21年	1,398,299	153,270
平成26年	1,442,397	188,734
令和元年	1,504,392	220,629
令和7年	1,572,700	257,900
令和12年	1,586,900	274,800
令和17年	1,583,200	302,400
令和22年	1,567,200	329,600

事業費の推移



(2) 利用実態の把握

現在、高齢者特別乗車証明書及び高齢者フリーパスは、いずれも紙の証明書及びパスを使用しており、正確な利用実態や事業効果の把握が困難。

他都市の状況

さいたま市、相模原市、岡山市は事業未実施。静岡市、千葉市、浜松市は事業廃止、広島市は令和2年8月をもって事業廃止の予定。

1 年齢要件について

年 齢	都市名
65歳以上	名古屋市、堺市、新潟市
70歳以上	川崎市、札幌市、仙台市、東京都、横浜市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、福岡市、熊本市
75歳以上	北九州市

2 受益者負担について

【応益負担】10都市 【応能負担】5都市

	方 式	代表都市	内 容
応益負担の例	フリーパス式とコイン式の併用	川崎市	事業の概要に記載のとおり
	コイン式	大阪市	乗車時に50円を負担
	利用上限設定方式	札幌市	利用者納入金1,000～17,000円で、10,000～70,000円分の利用が可能
応能負担の例	フリーパス式	横浜市	※所得等に応じて負担金額設定 障害者等：無料/年 合計所得700万円以上：20,500円/年 等

3 ICカード化について

ICカード	都市名
導入済み	札幌市、仙台市、新潟市、名古屋市、大阪市、神戸市、堺市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市
未導入	川崎市、東京都、横浜市、京都市

あり方検討会議について

1 検討会議の設置

高齢化の進展などにより、持続可能な制度となるよう見直しを行う必要があることから、**今年度策定する第8期（令和3年～5年）かわさきいきいき長寿プランの中で、「川崎市高齢者外出支援乗車事業のあり方検討会議」を立上げ、本事業の今後のあり方を様々な角度から検討する（令和2年6月25日（木）第1回開催）。**

2 設置根拠

「川崎市高齢者外出支援乗車事業のあり方検討会議設置要綱」に基づき設置

※「第8期かわさきいきいき長寿プラン」の策定会議であり、本市附属機関でもある「介護保険運営協議会」と連携を図りながら、検討を進めていく。

（参考）第8期かわさきいきいき長寿プラン策定における分科会・部会設置体系

(1) いきがい・介護予防施策の推進

- いきがい・介護予防施策の推進（分科会）
- 高齢者の外出支援施策の推進

(2) 地域のネットワークづくりの推進

- 地域のネットワークづくりの推進（分科会）

(3) 利用者本位の介護サービスの提供

- 高齢者サービスのあり方検討（部会）

(4) 医療介護連携・認知症高齢者施策等の推進

- 在宅療養推進協議会
- 認知症施策等の推進（分科会）

(5) 高齢者の多様な居住環境の実現

- 高齢者の多様な居住環境の実現（部会）

3 委員の構成

1	地域交通関係有識者	横浜国立大学 副学長 (同大学大学院都市イノベーション研究院教授)
2	高齢者の社会参加関係有識者	東京都健康長寿医療センター研究所研究部長 (同センター・社会参加と地域保健研究チームリーダー)
3	介護保険関係有識者	国際医療福祉大学大学院医療福祉経営専攻教授
4	事業者代表	神奈川県バス協会理事長
5	福祉関係	川崎市老人クラブ連合会理事長
6	福祉関係	川崎市社会福祉協議会事務局長
7	市民委員	介護保険運営協議会市民委員（1名） 市民公募委員（3名）

検討にあたっての論点

【論点1】持続可能な制度の構築

- ・年齢要件
- ・所得要件（応能負担、応益負担）
- ・三者負担のあり方

【論点2】利用実績等の透明性・客観性の確保

- ・ICT技術の導入

【論点3】時代に即した高齢者の外出支援全体のあり方

市民アンケートについて

1 アンケートの目的

本事業の対象者や若い世代の方など、幅広い年齢層の方に、本事業及び外出についての状況や考え方を調査し、検討会議の場等で活用することを目的に実施。

2 調査対象者

市内在住の満20歳以上の方の中から、**無作為抽出した10,000人**

3 調査期間

令和2年8月5日（水）から令和2年8月26日（水）まで

4 調査項目

別添「アンケート調査票」のとおり

5 調査方法

郵送により調査票等を送付し、調査票を返送もしくはパソコン・スマートフォンからインターネット上で回答。

今後のスケジュール

- 8月 市民アンケートの実施  
第2回あり方検討会議（具体的な方向性の検討）
- 10月 第3回あり方検討会議（市民アンケート結果の提示、具体的な方向性の検討）
- 11月 第4回あり方検討会議（一定の方向性の整理（報告書素案の提示））
- 12月 パブリックコメント（報告書素案、第8期かわさきいきいき長寿プラン案）
- 1月 市民説明会（第8期かわさきいきいき長寿プラン案）
- 2月 第5回あり方検討会議（報告書案の提示）
- 3月 第8期かわさきいきいき長寿プラン策定会議への報告